

『紙』の本が読みづらいと感じるあなたへ

—読書にはいろいろな方法があります—

2025.3 作成

図書館利用支援課

学習支援企画担当

目次

1	図書館等のサービス.....	2
1.1	みなサーチ 国立国会図書館障害者用資料検索	2
1.2	国立国会図書館デジタルコレクション	2
1.3	サピエ図書館	2
1.4	北海道立図書館（サピエ加盟館）	3
1.5	北海道立図書館 電子図書館（KinoDen）	3
1.6	札幌市電子図書館	3
1.7	札幌市視聴覚障がい者情報センター点字図書館	4
1.8	日本赤十字社北海道支部点字図書センター	4
2	身近なツールの活用.....	4
2.1	スマートフォン	4
2.1.1	iOS 向け	4
2.1.2	Android 向け	5
2.2	オンラインツール等	5
2.2.1	Google ドライブで PDF や写真のファイルをテキストに変換する.....	5
3	様々な読書方法についてもっと知りたい方へ.....	5
3.1	筑波技術大学 読書バリアフリーコンソーシアム テクノロジーハブ	5

1 図書館等のサービス

1.0 はじめに

北大図書館では「資料電子化サービス」を行っていますが、学外にも読書に役立つ様々なサービスがあります。

1.1 みなサーチ 国立国会図書館障害者用資料検索

- Webサイト：<https://mina.ndl.go.jp/>
- サービス概要：目の見えない方・見えにくい方、活字の図書を読むのが難しい方などさまざまな障害のある方が、利用しやすい形式の資料を探し、ダウンロードすることができる。
- 利用できる資料：点字、デイジーデータ（音声、マルチメディア、テキスト）、テキストデータ、透明テキスト付 PDF、電子書籍、バリアフリー映像資料
- 利用登録：視覚障害、その他の理由で通常の活字の印刷物の読書が困難な方（≒プリントディスアビリティのある方）が Web サイトから登録できる。

1.2 国立国会図書館デジタルコレクション

- Webサイト：<https://dl.ndl.go.jp/>
- サービス概要：国立国会図書館が収集・保存しているデジタル資料のうち、著作権保護期間が満了した資料や絶版などで入手が困難な資料について本文画像の閲覧やテキストデータの入手が可能。フリー公開されているもののほか、国立国会図書館の利用者登録をすることで閲覧できる資料もある。
- 利用できる資料：主に明治期から 1987 年までに整理された図書、雑誌は劣化したものや刊行後 5 年以上経過した学術雑誌。本文画像は pdf 形式または jpg 形式でダウンロードすることができる。
- 利用登録：フリー公開分は利用登録不要。国会図書館に利用者登録をすることで利用できる資料もある。詳細は個人向けデジタル化資料送信サービスを参照。
https://www.ndl.go.jp/jp/use/digital_transmission/individuals_index.html

1.3 サピエ図書館

- Webサイト：<https://www.sapie.or.jp/>
- サービス概要：視覚障害者や活字による読書に困難のある人が利用できる点字データ、音声デイジーデータなどを提供している。
- 利用できる資料：点字データ、DAISY データ。直接ダウンロードして利用できるものと、サピエ加盟施設に依頼して利用するものがある。

- 利用登録：サピエ加盟施設に利用者登録する必要がある。北海道内のサピエ加盟施設は、北海道立図書館や市町村立図書館の一部など（サピエ会員施設・団体一覧 <https://member.sapie.or.jp/institutions/list?id=1>）。利用登録をしたい際は、お近くのサピエ加盟施設にまず相談を。

1.4 北海道立図書館（サピエ加盟館）

- Webサイト：
<https://www.library.pref.hokkaido.jp/web/guide/nk8et3000000007k.html>
- 所在地：北海道江別市文京台東町 41
- 提供資料：大活字本、デイジー資料、LLブック、点字図書、印刷体資料
※主な提供資料は一般的な印刷体資料。
- 在宅で利用できるサービス：
 - オンライン：サピエ（障害者向け）、電子図書館（KinoDen）※詳細は 1.5 へ、北方資料デジタルライブラリー
 - 郵送貸出：「心身障害者用ゆうメール」を利用して図書館資料を自宅に郵送
- 近所の図書館への取寄せ：道立図書館にリクエストし、自宅近くの公共図書館で受取
- 図書館で利用できるサービス：閲覧、貸出、筆談対応可
- 障害者用支援機器等：拡大読書器、リーディングトラッカー、ルーペ、コミュニケーションボードなど
- 利用登録：「サピエ」の個人利用登録や「心身障害者用ゆうメール」のサービスを利用した郵送貸出には、障がい者区分での利用者登録が必要

1.5 北海道立図書館 電子図書館（KinoDen）

- Webサイト：
<https://www.library.pref.hokkaido.jp/web/guide/kinoden.html>
- 利用できる資料：電子書籍（約 7,000 点）。主に健康・医療等の実用書、ビジネスや語学学習等で活用できる教養書、調べるための参考となる事典・辞書・図鑑類、北海道に関する書籍、学校の調べ学習等で活用できるアイヌ文化や SDGs、防災関係等の書籍などが利用できる。拡大表示や白黒反転の設定が可能で、読み上げが可能な電子書籍もある。
- 利用登録：北海道立図書館の利用者登録が必要。北海道内在住、または帰省先や勤務先が北海道内の方が利用者登録できる。

1.6 札幌市電子図書館

- Webサイト：<https://www.city.sapporo.jp/toshokan/densito/top.html>

- 利用できる資料：電子書籍（約 8,000 点）。デジタル絵本、小説、実用書のほか、「広報さっぽろ（昭和 25 年第 1 号～最新号まで）」をはじめとした郷土資料などが利用できる。文字の拡大、背景と文字色の変更ができる。読み上げが可能な書籍、オーディオブックもある。
- 利用登録：札幌市の図書館の貸出券を持っていて、パスワードを登録していれば利用できる。貸出券は札幌市内在住、または札幌市内に通勤・通学している方が申請できる。

1.7 札幌市視聴覚障がい者情報センター点字図書館

- Webサイト：
<https://www.city.sapporo.jp/shinsho-center/shichokaku/shikaku/toshokan.html>
- 利用できる資料：点字図書、音声デージー図書。プライベートサービスとして、リクエスト資料の点訳・音訳・拡大図書作成、対面朗読にも対応している。
- 利用登録：札幌市内在住の視覚に障害のある方、その他の障害や病気等で活字の本を利用することが難しい方が利用できる。

1.8 日本赤十字社北海道支部点字図書センター

- Webサイト：なし
- 電話：011-271-1323
- 住所：札幌市中央区北 2 条西 7 丁目 1 道民活動センタービル 5 階
- 利用できる資料：点字図書、音声デージー図書、テキストデージー図書。プライベートサービスとして、リクエスト資料の点訳・音訳・テキストデージー化にも対応している。
- 利用登録：北海道内在住の視覚に障害のある方、その他の障害などで活字の本を利用することが難しい方が利用できる。

2 身近なツールの活用

2.1 スマートフォン

スマートフォンの機能でテキスト認識をさせたり、画面のテキストを読み上げさせることができます。OS や機種によって使い方が異なりますので、ご自身の端末に応じた方法をご確認ください。

2.1.1 iOS 向け

- iPhone で視覚に関連するアクセシビリティ機能を設定する

<https://support.apple.com/ja-jp/guide/iphone/iph732dc028d/ios>

- iPhone のカメラでテキスト認識表示を使用する

<https://support.apple.com/ja-jp/guide/iphone/iphcf0b71b0e/ios>

2.1.2 Android 向け

- スマホのアクセシビリティとは？Android で利用できるアクセシビリティ機能を紹介

https://www.android.com/intl/ja_jp/articles/131/

※Androidは機種によって機能が異なる

2.2 オンラインツール等

様々な目的に対応できる多様なツールがありますので、使いやすいものをいろいろと試してみることをおすすめします。ここでは一例を紹介します。

2.2.1 Google ドライブで PDF や写真のファイルをテキストに変換する

<https://support.google.com/drive/answer/176692?hl=ja&co=GENIE.Platform%3DDesktop&sjid=13764377209829442268-AP>

2MB以下のPDFファイルまたは写真ファイル(.jpeg、.png、.gif)をテキストに変換することができます。使用されているフォントやレイアウトによっては認識精度が下がることがあります。

3 様々な読書方法についてもっと知りたい方へ

3.1 筑波技術大学 読書バリアフリーコンソーシアム テクノロジーハブ

- Web サイト：<https://www.i.tsukuba-tech.ac.jp/techhub/>

本を読むための方法についての「情報拠点」として利用できます。様々な読み方に応じた機器の入手方法や、アクセシブルな本を探す際に役立つリソース、その他読書に関わる様々なサービスへのリンクがまとめられています。